

隊商

砂漠にはコラルがあった
ザッ、ザッ、ザッと駱駝の足が砂にめり込む度
少年は夢見た
孤独な放浪いを

聖なるガンジスの流れに
ふくよかな身を沈める女たちや
異様にぎらついた男たちの目と
そしてターバンを

突然吹きつける雪の中
ちらりと見えるかもしかや
冷たく神秘的な水を
静かにたたえた高原の湖を

ごつごつした岩
ぼろぼろに乾いた茶色い土
そして夜毎に襲う寒気
それに昼間さっと吹く冷たい風を

泥だめのような水田地帯のぬかるみや
奇妙に草木が刈り込まれた庭園
それに、朱に塗られた木の柱
もやにかすむ村々を

それは砂漠にさまよう者だけが夢見ることができ
そして駱駝に乗る者だけに許される
最高の自由であった
特権だった

(1989.11.16)